



第3号

編集発行

園田学園女子大学

シニア専修コース

「けやき便り」編集クラブ

電話 06-6429-9908



シニアの力

園田学園女子大学

学長 富永 嘉男

この度の東日本大震災で被災されました皆様に心からお見舞いを申し上げますとともにお亡くなりになりました方々に衷心よりお悔やみ申しあげます。一日も早い心の平穏の回復と被災地の復興をお祈り申し上げます。

連日、テレビで被災地の日々の動きや状況がリアルタイムで放映されるのを見て、阪神淡路大震災を経験した私にとりましても、その被害の厳しさと甚大さに胸が締め付けられる思いです。

特にこの度は、地震や津波だけでなく原子力発電所が被災し、放射能汚染が人々の健康を脅かし復興の足かせとなっているのは、誠に痛ましくまた残念であります。しかし、東北地方、特に三陸地域はこれまでもたびたび地震や津波の被害をうけ、その経験から多くのことを学び

知識や経験やノウハウとして蓄積されているシニアの人々が他の地域と比べ多く居住されている地域であります。原子力発電所の事故処理が終われば、必ずやシニアの方々の体験やノウハウが復興の支えとして役立つものと確信するとともに、このシニアの知恵を現役や若者の持っている知識や体力にどのように生かすかが復興のカギを握るものと思います。

さらに阪神淡路大震災を経験された方々が多く学ばれているこのシニア専修コースの皆様はすでに蓄積された豊富で有用な「知恵」を、旺盛な知的好奇心で目的とする最新の知識で補強することを志されている方々であります。まさにこのような困難な事態に対応できる最強の支援者の資格をお持ちの方々であり、皆様の復興に対する応援を心から期待しております。

シニア専修コースでご指導を頂く先生方からのメッセージ

なお、敬称は省略、順序はあいうえお順で掲載させて頂いています。

1 段目	お名前	2 段目	お写真	3 段目	役職名
4 段目	ご担当科目	5 段目	メッセージ		

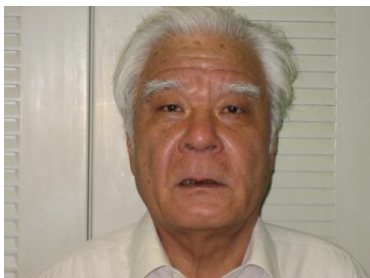
文学歴史学科、国際文化学科

乾 安代	岩崎 日出男	上田 洋行
		
本学教授、近松研究所長、 図書館長	本 学 教 授	元阪神シニアカレッジ教授 前丹波市教育長
日本芸能史	漢詩漢文の世界(前期) 仏教の歴史と思想(後期)	日本史購読
日本の(主として古典)芸能を、 鑑賞を交えつつ楽しく学びま す。観劇の感激をじっくり味わ ってほしいです。	私たちの生活に身近な仏教行 事(お盆・お彼岸・49日など) を通して、仏教の思想を講義し ます。また漢詩や故事成語を中 心とした、日本人にもなじみ深 い作品から中国の歴史や文学 を学んで戴きたいと思います。	皆様方の力を私のエネルギー に変えて、講座を展開します。 日本史購読生頑張れ！！ 支え合う日本！！ 東日本負けるな！！
大江 篤	影山 尚之	片山 佳子
		
本 学 教 授	本 学 教 授	本学名誉教授
日本史学Ⅰ	日本文学Ⅰ	ゼミナール特講(不開講)
今年度から久しぶりに日本史 学?でシニア専修コースの講 義科目を担当しています。史料 を読み解きながら、「歴史」を 学ぶ楽しさを伝えることがで ければと思っています。	毎回、睡魔と戦ってくださり恐 縮です。	・学ぶことは楽しい。 ・「少(わか)くして学べば壮 にして為すあり。壮にして学 べば老いて衰えず。老いて学 べば死して朽ちず」

文学歴史学科、国際文化学科		
紙村 徹	葛西 進司	河合 利光
		
神戸市看護大学准教授	元本学非常勤講師	本学教授
アジア太平洋文化論(前期)	国際関係	文化人類学入門 国際文化演習
下欄を参照して下さい。	P4を参照して下さい。	いつも熱心に聞いていただき 有難うございます。
久下 隆史	桐藤 薫	田辺 真人
		
元県立北摂三田高校長 日本民俗学会評議員	本学非常勤講師	本学名誉教授
日本史学研究	東洋史概説	地域文化論
学びは一生、自らの主体性を大切に した「生涯学習」がいわれ、 様々な機関が学びの場や機会 を提供するようになりました。 何であれ、学びは人を大きく し、幅広くします。今さらとい わず、かつて村の長の呼称であ った「年寄」として学識を深め てください。	歴史を学ぶことを通して他者を 理解し、ひいては自己を理解す ることに繋がればと願っており ます。	人間の創り上げたすべての物事 つまり文化は地域によって異な ります。 地域文化とは何かを歴史的に学 びましょう。

紙村先生からのメッセージ

今年度前期にアジア・オセアニア文化論を担当することになりました紙村です。わたしはこの35年間余りにわたって主にパプアニューギニアを研究対象にし、そして野外調査を継続してきましたので、本講座においてももっぱらパプアニューギニアについて講義を行うこととなりますが、あわせて広くオセアニア圏の諸文化についても可能な限り興味深いトピックを取り上げていきたいと思っています。わたしの専攻は文化人類学で、かつヒトの身体的基層に関心がありますので、そうした話題が多くなると思われます。しかし受講生の関心のあるテーマは積極的に取り上げていきますので、よろしくお願いします。

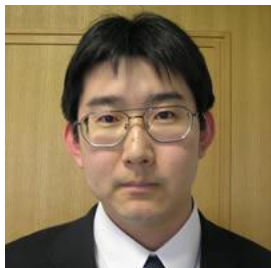
文学歴史学科、国際文化学科		
谷川 泰教	福田 誠二	福嶋 昭治
		
高野山大学名誉教授	元県立西宮高校長	本学教授
仏典を読む	日本史学Ⅱ	日本文学Ⅱ
お釈迦さまとお大師さんの教えを通してひと味違った仏教の魅力を感じていただけたらと願っています。	皆さんの溢れる向学心にパワーをいただきながら時には難解な史料にチャレンジしていきましょう！	源氏物語は面白い！それを読む楽しさと豊かさを語り続けます。
松山 利夫	山口 悟	吉村 稠
		
総合研究大学院大学名誉教授 国立民族学博物館名誉教授	大阪学院大学准教授	本学名誉教授
多文化共生論	西洋史概説 西洋史特論	日本文学Ⅲ 日本文学研究Ⅰ 日本文学研究Ⅱ
仲間をふやしましょう！ みなさんの周囲の方にも宣伝をしてください。	歴史を楽しみましょう。	・人生、何でもある！ ・何でもある、文学の世界！ ・そのだ『シニ専』を楽しんでください。

葛西先生からのメッセージ

“国際情勢は複雑怪奇” といって、戦前、日本の外交団は国際連盟を脱退しています。確かに、国際関係は戦前も現代も、国益が絡みあい、一筋縄では理解できないかもしれませんが、それだけに、挑戦のし甲斐があります。物事にはウラとオモテ、本音と建前があります。

そのウラ側を知れば、国際関係の本質が見えてきます。本講座では、新聞、テレビからでは見えてこない、国際ニュースの深層に迫ります。

本講座受講の皆様は、ビジネスや生活体験が豊かで、事任の裏側に、潜む本質を見抜く力を持っていますので、国際関係の理解により有利ではないかと思います。

国際文化学科		情報学科	
吉本 康子		小田桐 良一	垣東 弘一
			
国立民族学博物館外来研究員		本 学 教 授	本学准教授
アジア太平洋文化論（後期）		応 用 情 報 情報特論（前期）	基 礎 情 報 課 題 研 究 I C Tリーダー技法（後期）
「異文化の魅力と尊厳をともに 学びましょう！」		応用情報の前期を担当しています 小田桐良一です。 授業では、PowerPoint を用いた口 頭発表を前提としたスライド作成 や、大規模なデータを効率よく管 理するデータベースの構築や検索 の仕組みといった分野の実習を行 います。	「情報の技術と知識を身につ け、賢く・楽しくパソコンを使 いましょう！」
清水 五男		堀田 博史	稲熊 孝直
			
本学准教授 情報教育センター所長		本 学 教 授	ティーチングアシスタント（TA）
基礎情報		応 用 情 報 情報特論（前期）	TA 1年目の稲熊です。よろしく お願いします。 シニアの皆さんには、答えを求め る過程も大切にしてほしいと思 います。時には遠回りになること もありますが、得られるものも多 いはずです。微力ではありますが、 私もサポートをさせていただきます！
下欄を参照して下さい。		学び続ける楽しさを実感しま しょう。	

清水先生からのメッセージ

情報教育センターの所長を務めて3年目を迎えました清水です。

今年度の2学期から基礎情報処理を担当することとなっています。皆さんは、学校で情報に関する学習を学ばれる機会は少なかったと思いますが、本学でパソコン等を実用的に使えるように学習に励んで欲しいと願っています。しかし、大事なのは基礎・基本をしっかりと身につけることです。情報教育センターを十分に活用し、これらの力を育んでください。

情報学科		
鍋野 有希	村上 和繁	森 純子
		
ティーチングアシスタント (TA)	ティーチングアシスタント (TA)	ティーチングアシスタント (TA)
TAの鍋野です。 多趣味な皆様と色々なお話が出来るのを楽しみにしています。 これからもたくさんの方と一緒に学んでいけたらと思います。 よろしくお願いします。	4月よりTAとして勤務している村上です。 1ヶ月の間に、シニアの方々からは「勉強するぞ!」というものすごい熱意やパワーを感じています。それを感じる度に、やる気を分けてもらっている思いです。これからもよろしくお願い致します。	TAの森です。明るく前向きで勉強熱心なみなさんとお話できるのをいつも楽しみにしています。 これからも一緒に楽しく学んでいきましょう! よろしくお願いたします。

総合生涯学習センターのスタッフの皆さん



3月18日（金）平成22年度シニア専修コース卒業式が行われました

午後2時から、今井学長をはじめご来賓の方々の臨席を頂き、AVホール（3号館2階）で執り行われ、卒業証書が授与されました。

卒業される方 文学歴史学科 18名、国際文化学科 6名



卒業式に際してお祝いの言葉を述べられる今井学長



列席を頂いた先生方



卒業証書を授与される
文学歴史学科 石橋洋子さん



卒業証書を授与される
国際文化学科 赤松良一さん



文学歴史学科の方々



国際文化学科の方々



コーラス部の方々

4月15日（金）平成23年度シニア専修コース入学式が行われました

午後2時から、富永学長をはじめご来賓の方々の臨席を頂き、講堂（1号館4階）で執り行われ、入学許可証が授与されました。

新入生は、文学歴史学科…18名、国際文化学科…23名、情報学科…13名です。



入学のお祝いの言葉を述べられる富永学長

富永学長から入学許可証を授与される新入生代表



文学歴史学科 上杉美代子さん



国際文化学科 大久保洋子さん



情報学科 中尾 孝さん



列席を頂いた先生方



大学の歌等を披露されるコーラス部の皆さん

入学に際しての新入生のメッセージ

歴史が大好き人間

文学歴史学科1年 田畑 正信

田畑正信と申します。よろしくお願いいたします。

私は小さいころから歴史が好きで、大学の史学科を二度も入学しましたが、やむをえない家庭の事情とぬきさしならぬ仕事の都合で途中挫折してしまいました。

爾来40数年、忙しすぎる勤務からようやく解放されて、長年の夢である歴史の勉強にチャレンジすることができるようになりました。しかし、これまで参加した講座のなかには、もちろんまともな講座も多々ありましたが、なかには「考古学はアテにならない。古代史は『日本書記』がモノサシだ」「皇統が2000年以上もつづく国は外国にない」など、アナクロニズムというか、「自由主義史観」というか、デタラメな講師もいたりして、さまざまでした。

私にとって歴史を学ぶとは「温故知新」であり、これまでの学問の歩みを正しくふまえた最新の到達点を学び、日本と世界のこれからを大局的に見すえることではないかと考えています。専修コースの先生方には、今日的な立場からの、しかもきわめて広く深い内容のお話を聞かせていただけるものと期待しており、私もしっかりと勉強しなければならないとの思いを新たにしております。

3年かけて、さまざまなジャンルの講義を多角的にお聞きすることで、生涯学習の門口に立てるのではないかとおもっています。

こんな私ですが、なにとぞよろしく、おつきあいいただけますよう、お願いを申し上げます。ありがとうございました。

入学メッセージ

文学歴史学科1年 坪中 泰子

私は神戸シルバーカレッジから、園田学園の日本史に興味があり、園田学園がどこにあるか知らないで見学に来ました。

門からケヤキ並木は素敵な環境に感動しました。

行く向かう人は若い女性で自分も女学生になった気分になり辺りを見ながら食堂に行き広いのびっくりしました。

若い女性の声に元気をもらいます。

これからも楽しく元気で学校に行きお友達ができることを楽しみにしております。

園田学園に入学して

国際文科学科1年 大沢 早知子

楽しみにしていた学園生活が始まりました。とてもワクワクしています。気持ちだけは18歳です。花の女子大生です。でも浮かれてばかりしておられません。肝心なのは勉強です。初めての講義は文化人類学です。とても興味深かったです。内容はアメリカ大陸の原住民（インディアン）の視点から歴史を振り返ってみたものです。今までテレビで西部劇を見ていた時の白人サイドの見方とは180度違ってきます。視点を変えて物事を見る大切さ、面白さ、感心させられました。

こういうこと一つでも心がけていると、ずいぶん脳が柔らかくなって柔軟な考え方のできる素敵な大人になれるでしょう。あつ、私は18歳じゃなかった。訂正です。素敵な老人になれるでしょう。これからの人生心豊かに過ごせるように頑張ります。

園田学園女子大学

シニア専修コースに入学して

国際文科学科1年 M・S

私は、女子大学と名のつく学校に籍を置くのは初めてなので、少々緊張気味で入学式に臨みました。

入学式当日、少し早く学校に行き、校舎内を探検しました。

最初に食堂を覗いてみて、想像していた通り、にぎやかで若い女子のムンムンとした熱気で圧倒されそうになりました。と同時に私に

も、あの子たちのような時代があったのだ、何にでも興奮し、感激したり・・・・・・・・・・以前かよっていたいたカレッジでは、皆一応現役をリタイヤして、残りの人生を、いかに楽しみ、有意義に過ごすかと考えている年代ばかりでした。ゆったり、のんびり、といった感がありましたが、今年からは、この学園の若者の若さと元氣を感じながら生活するのだ、と思うとなんだかうきうきした気分になり、きっと若返るのかなあ！と思った。

授業内容は、すでに入学している先輩に、期待できるよ！と聞いていたので、たのしみにしている。文化人類学、アジアの現在、ニュースでは、知りえない裏側の話も聞けるのではないかと、期待している。

クラブ活動も目が離せないなあ！と感じている。これから大いに目をみひらいて生活しよう。これからどんな日々が待っているのか楽しみです。

チャレンジ効果！

情報学科1年 井上 礼子

情報学科に入学させて頂き、(クラブ活動があるのも学校ならではの……と新鮮かつ何だか懐かしく……すかさずデジカメクラブに入部) まだ1カ月しか経っていないのでゆっくり周りを見渡すほどの余裕もなく、ただ、ただ、通うごとに新鮮な驚きとわくわくした心の躍動感を感じています。日頃、使うことのない退廃の道を辿るばかりのさびついた脳のある部分に刺激が与えられ確実に活性化されていることを実感しているこの頃です。

私が情報学科で学びたいと思ったきっかけは今春の孫の入園と入学です。彼らが新しい未知の世界へ飛びだしていく中、私も変わり映えない安穩とした日々から脱却して知らない世界でちょっと難しいことにチャレンジしたいと思いました。PC、デジカメのことは家族に教えてもらおうと「素直に聞けない自分」が居て、でもちゃんと系統だって知りたい、お稽古やカルチャースクールでない学べる場を希望しまし

た。入学式があることも何だか学生気分であれしく緊張しましたし、学食で若い学生さん達の中に入れてもらって同級生とランチすることも若返るような体験です。

知らないことを知っていくことは大きな喜びです。キャンパスの美しいけやきに負けないよう知的好奇心をぐんぐん伸ばしたい！と今は意欲に燃えています。PCの世界は奥が深く、あまりにも知らないことだらけで授業についていくのがやっとで新緑が落ち葉、枯れ葉にならぬ様学べる環境にいることに感謝しながら、がんばりますので、諸先生方、先輩方、同級生よろしくをお願いします。

イキイキ好奇心！

情報学科1年 宮本 裕江

園田学園女子大学のシニア専修コースのことは、以前高校の同期会で、友人から話を聞き、うらやましく感じていました。

実家は、神戸でしたが、今住んでいる所は、大阪と奈良の中間、東に生駒山を望めます。少し時間はかかるものの、JRを使えば、1本で立花か塚口へ。そこから、30分のゆったり散歩コース今はどこも花がきれいです。

仕事でパソコンを知り、マウスを引っ張るだけで1,2,3・・・・と数字が並んだり、式を入れると、数字をかえても答えが出てきたり、ビックリの連続でした。これからも、そんなビックリ！に出会えたら・・・と、情報学科に入学しました。月2回のデジカメクラブも楽しみです。まちの保健室にも行きました。

いろいろな方と知り合い、いろいろなところへ出かけて、気持ち(だけ?)は20(才)代?を目標にすごしたいと思っています!!
いろいろ教えてください。どうぞ宜しくお願いします。



先輩からのメッセージ

お試し受講記録

文学歴史学科2年 水原 剛

2年生になり受講科目の選択で、“お試し受講”に挑戦。月曜から次々と体験しました。講師の先生方は多士済々、まさに百花繚乱(?)です。内容も濃くて、あれもこれもととても楽しい日々でした。そんな中、仲々決まらず、お友達の女性に伺ってみると「もう決めたわよ。あなたはまだ?」と冷たい一瞥に思わずドキッ!!その決断力は凄く私にはとても……自分の優柔不断さに焦りを感じ、翌週も次々と受講。あっという間に最終日。ここでハタと気付く。何と9日連続受講達成。これはシニア専修界の怪挙では? 周りの誰も賞賛してくれないので自分で勝因分析。近くて交通費の掛からない地の利か?それとも受講が無料だからか?はたまた持って生まれた“暇人魂”なのか? こうなったら来年度は午前午後の完全受講に挑戦しようかな? 一年生の皆さん、一緒に挑戦しませんか。それから諸先生方、冷やかし受講、ゴメンナサイ。有り難うございました。

「学問の行方」

国際文化2年 平嶋 貞子

学問をする目的とは、個人として独立した人間になること、社会の一員としてその立場を自覚し、世の中に貢献すること、社会の発展に尽くすこと、ひいては一国の独立を果たすことにある。「福沢諭吉学問のススメ」しかし、私の学問への導きは吉田松陰先生です。

前号では「ノータリンの私」が、神様に導かれて園田女子大学シニア専修コースへ入学した話を書きました。そこでやれやれと思っていたら、今度はそのノータリンが1年でどう変わったか書きなさいと言うことなんです。勿論ノータリンの私が1年でさほど賢くなるはずもなく困ってしまいました。

年を老いてからの1年は四季が一度にやって来て、一度に去って行った感があります。その後に巡り来る、緑の息吹に感嘆し、心奪われている近頃。ここは地域に開放された幼稚園からシニアまで、理想の学園区域であり、園田の杜である。

去年は、記念すべき生涯学習30周年の年でもあり、さまざまな先輩方の活動を拝見し感動しました。昭和54年から始められた生涯学習の礎をめぐって、諸先輩方々並びに先生方のご尽力を再認識させられ、私達のために生涯学習の道を開いてくださったことに感慨一汐でした。心より感謝申し上げます。

時にはそんなご恩もすっかり忘れ、講義の心地好さにコックリさんを楽しんだりしていますがお許しください。

1年目、受講科目(日中関係史・文化人類学・国際関係・日本史Ⅰ・日本文学Ⅲ)と、五科目を一番前の席に座り、一日も休みなく受講。年老いて知る学びの楽しさは、渴いた喉がぐびぐびと飲み取る程の嬉しさでした。

今年は少し絞り込んでジックリ受講しようとの思いもどこえやら、一度捻った蛇口の水は止まることを知らない。次から次へと学びたい事が沸いて溢れて来よう。

学ぶことの素晴らしさ、人と出会うことの喜びは、たとえようも無い。

若い女子学生と同じキャンパスで、同じ太陽を浴びながら友と学べる幸せよ、好きなだけ図書館で本を読み解放されたこの1年、私は笑っている。ニュージーランドへ行った時も私は笑っていた。「アッハッハッハ」と、恥ずかしい位に笑っていた。

知識が無かった。日本の歴史さえ良く知らなかった私は、国籍のない自分を抱えてウロウロしているようなものだった。

それが学習することで、ウィンドウを開けて行くことで換ってゆく。世界の動きが目止まる、新聞の見方、ニュースの聞き方も少しずつ変化している・・・・・・。

自然界ではもっと大きな異変が起きている。きっと「大空」は異変に気付いていることだろう。そして空の上から、それ見よ！それ学べよ！と語りかけているに違いない。

東日本大震災につぐ原発の被災。これは自然に起きた災害ではなくて、政治が作りだした災害だと私は感じている。私達の知らない間に50幾つもの原発がつくられ続け、知らずにその恩恵を受け、オール電化へ移行と言ったところで、一体どこでどれだけの電力が生み出されているのか疑問も持たずに人任せにしてきた。ニュージーランドのクラーク首相のように『豊かさを追うか、貧しくても平和を守るか』国民に問う政治へ換えられなかったのは日本国民一人一人の責任でもある。

今、日本では221万人を超える外国籍の人たちが暮らしており、多民族の共生、民族のグローバル化となりつつあり、多文化共生論の概念が必要となってくる。果たして地球をどう守れるかが問題である。

万物は時々刻々変化する。出来ることなら美しい地球だけ残し、災いは縄で縛り付けてでも持って逝きたい！

その時、この園田での学びをしっかり握り締めているであろうか。

継続は力なり

情報学科3年 上野 栄三

新入生の皆さん、入学時の緊張が解けてそろそろ大学の雰囲気に慣れてきたころだと思います。この時期から、本当のスタートと思って、気を緩めずに頑張ってください。

「習うより慣れろ」といわれていますが、これは勉強することを習慣づけるということだと私は理解します。自ら選択した道なのでから進んで行きましょう。

「継続は力なり」、聞きなれた言葉だと思われませんが、踏み出す一歩は小さくとも、「塵もつもれば山となる」ごとく、前向きな姿勢で頑張っていきましょう。



5月21日
けやきデジカメクラブ
第1回撮影会を
「伊丹市立荒牧バラ公園」にて開催

施設案内



シニア専修コース掲示板
(1号館1階)



開花亭(食堂)
(5号館1階)



保健室(5号館2階)
2階上がってすぐ左にあります。



総合生涯学習センター事務室
(1号館1階)

シニア専修コース掲示板、総合生涯学習センター事務室は、皆さんへのお知らせ・変更の掲示等を行っています。
また、「けやき便り」への投書箱・連絡箱を設置しています。



チャティアー
(5号館2階)
喫茶室のような所ですが、親睦会・パーティーに利用できます。



AVコーナー(3号館2階)



生協売店(5号館1階)



喫煙場所
(南入口の隣、園芸実習室の横の公園)
喫煙場所は、ここしかありません。必ず、守ってください。



AVホール(3号館2階)



生協売店(5号館1階)

図書館(3号館3～5階)



近松研究所(5号館3階)



この表札は、樹齢三五〇年の桜材で近松門左衛門と同世代です。この書は、テレビドラマの題字等でお馴染みの竹内志朗氏の揮毫です。

図書館・近松研究所利用の注意事項

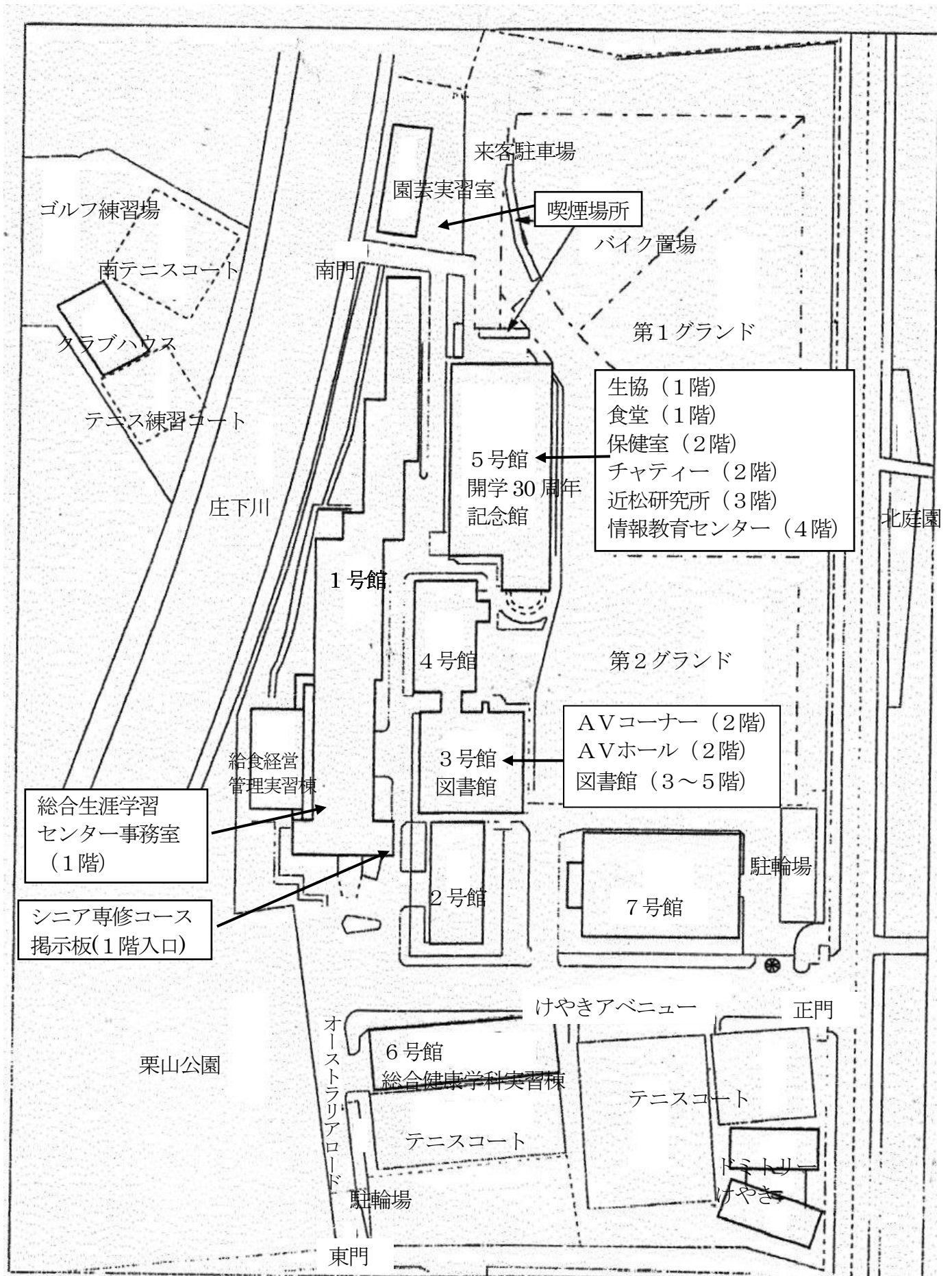
- ◆ 開館日時 月曜日～土曜日（ホームページにて念のため確認して下さい）。
- ◆ 休館日 日曜日、国民の休日・祭日、館長・所長の決めた休館日（春・夏・冬休みの長期休み、他）但し、近松研究所は土曜日は休みです。
- ◆ 貸出 カウンターで「学生証」を提示、別途手続きが必要です。
図書館と近松研究所を合算して、冊数は5冊まで、期間は15日間です。

情報教育センター(5号館4階)



情報学科の学生は、パソコンの使用が可能です。
授業以外でパソコンが自由に使用できるのは、月曜日、水曜日と土曜日です。
また、文学歴史学科および国際文化学科の学生も、情報学科の科目を選択すると情報学科の学生と同じくパソコンが使用できます。

園田学園女子大学およびシニア専修コース関連施設配置図



ニュージーランド学外研修が行われました

参加者 シニア専修コース 男 8名 女 13名 公開講座 女 4名 事務局 1名

月 日		内 容	宿泊地
1日目	1月28日(金)	1日目 午後12時 関空集合 NZ98便 14:30発 ニュージーランドに向け出発	(機中泊)
2日目	1月29日(土)	オークランド着 05:30 オークランド発 NZ303便 07:00 クライストチャーチ着 08:20 そのだクライストチャーチキャンパス (SCC) →市内見学→昼食後→ Willowbnnk Nature reserve→SCC	クライストチャーチ (SCC泊)
3日目	1月30日(日)	クライストチャーチからカンタベリー平野を テカポ湖を経由マウントクックへ	マウントクック ハーミテージホテル泊
4日目	1月31日(月)	リンディス峠～果物の村クロムエルを経て リゾート地クイーンズタウンへ	クイーンズタウン (クイーンズタウン 連泊)
5日目	2月 1日(火)	フリー クイーンズタウン市内視察 リカティブ湖と リマーカブル山脈の素晴らしい眺望や蒸気船 で湖周航を楽しみます。	クイーンズタウン (クイーンズタウン 連泊)
6日目	2月 2日(水)	クイーンズタウンからテアナウへ 鹿牧場見学・BBQ(バーベキューランチ)、 テアナウ着後、土ホタルと轟音轟く地下の大 水脈体験	テアナウ (テアナウ 連泊)
7日目	2月 3日(木)	テアナウ発～ 大自然の驚異／ミルフオードサウンド視察	テアナウ⇄ ミルフ オードサウンド (テアナウ 連泊)
8日目	2月 4日(金)	ワナカ、ハースト峠を経て西海岸へ フランツジョセフ氷河	フランツジョセフ (フランツジョセフ泊)
9日目	2月 5日(土)	西海岸を北へホキティカ～ クライストチャーチへ	(SCC連泊)
10日目	2月 6日(日)	ワイタンギデイ (WaitangiDay) この日は祝祭日。多くの店は休み。 Okains Bayでの式典見学～アカロア視察	(SCC 連泊)
11日目	2月 7日(月)	フリー クライストチャーチ市内(見学・買い物) フェアウエルパーティ	(SCC 連泊)
12日目	2月 8日(火)	フリー クライストチャーチ市内～帰国へ クライストチャーチ発 (NZ546便 19:35)	(機内泊)
13日目	2月 9日(水)	NZ9 7便 関空着 07:30 着後解散	

ヘリ遊覧飛行、自然の素晴らしさに魅了

研究生（学外研修時 文学歴史学科三年） 福井 貞和

ニュージーランド南島にて遊覧飛行ツアーに六名が参加した。

日本では出来ない最高の豪快アクティビティーだったと思います。

ヘリに乗り込み五分飛行すると眼下にはあの有名なフ란ツ・ジョセフ氷河。神秘的な青白い輝き、幾筋ものクレパス。南島にはこの氷河によって出来た湖が多い。パイロットは高度を上げていく。思わず両手を握りしめ上体を反らし「ワー、ワー」と呻く声を出す。パイロットは微笑む。腕の見せ場なのだ。飛行すること一五分、薄曇りの空に透き通るような青空が見えてきた。三千メートル級の山々が連なる美しい雪景色をしたサザン・アルプスの主峰マウント・クックだ。三千七百六十四メートル。最も高い山マウント・クックは「アオラキ」（マオリ人にとっては神奈備山だ）と呼ばれている。雪上に着陸した。海拔二千三百メートル。歓声が上がる。自分の足で立っている。山の他には何もない、静寂の世界。景観はまさに息を呑む素晴らしさである。手付かずのパウダースノーを口の中に入れてみた。神水となり喉を潤していく。白銀を背に帰路。何処までも続く牧草地、点在する集落のベンガラ色の屋根、薄青色の湖が眺望できた。雄大な地形、美しい氷河の眺め、約四十分の飛行。堪能できた。日本の四分の三の面積。人口四〇〇万人。四季はあるが季節ごとの変化は少なく理想的な気候である。冒険家にもたまらない魅力がある。来て良かったと思えました。



イラスト

文学歴史学科2年 浜谷 智恵子

1月20日好天に恵まれた中、布引の滝から徳光院への「史学Ⅰ」
校外学習が田辺先生のご指導でおこなわれました。一部紹介します。

文学歴史学科2年 木下俊造



9時30分
阪急三宮駅集合
春節祭のポスターも
あって、さすが神戸の
街



①景勝布引の滝

恥ずかしながら
今日が初めて



スタイルが
決まっていますね！
話もしっかり
聞いていますよ
先生の右手下には
②藤原定家歌碑
「布引の滝のしらいと
なつくれば絶えずそ
人の山ちたつぬる」



布引の滝と滝山城跡
の別れ道
断崖絶壁の城跡は
本日パス



③砂子(いさご)橋
(国指定重要文化財)

神戸港へ水を供給し
た日本最古の水道用
貯水池からの水路橋



④雌滝

ここからの景色は最
高。次は誰かと一緒
に来て、お弁当食べる
のにも絶好のポイント
です。



⑤雄滝

雌滝の上に雄滝があ
り、その2つに挟まれ
て、夫婦滝と鼓ヶ滝が
あり、4つを合わせて
布引の滝といいます。
布引の滝、日光の華厳
の滝と那智の滝が三
大神滝と呼ばれてい
ます。



⑥徳光院の多宝塔

名谷の明王寺より
川崎造船社主川崎氏
が買取り、徳光院に寄
付移築



砂子橋で

本日の授業も無事終
了お疲れ様でした！
田辺先生、
ありがとうございました。

布引の滝 歌碑の道

明治時代36基の歌碑として建立され、平成19年歌碑の道として整備されました。
砂子橋の上の砂子山は元の生田神社があり、松の木が植えられていましたが、生田川洪水の大
雨災害の時に役に立たず、そのため現在の生田神社には、松の木が植えられていません。

魅惑の島、フィジーを旅した

第 3 回

国際文化学科3年 西阪 順三

レブカ最後の日、7日目の3月1日は朝から大変な豪雨。5時発のバスに乗るので、みんな4時前に起きて仕度に変で、バスは満員の上に雨漏りがするほどひどい降り方です。プレサラ港からフェリーに乗ったのですが、なんとフェリーも日本製で案内板など日本語がそのまま残っていて懐かしい思いがしました。ナトビ港に着いたが雨は激しくなるばかりで、途中の川が氾濫して道路も冠水するほどです。午前10時過ぎにスパに着いてからも、雨が降り続いていたのでバスの運転手に頼んで、特別にホテル前まで送ってもらって大助かりです。午後3時の出発まで雨で外にも出られず、目的地のコーラルコーストのホテルに着いた頃にやっと雨が止みました。

その夜、近くのレストランで食事をしました



民族衣装でショーを披露する原住民たち

が、店の女主人のトリカさんから明日の夜、パシフックハーバーのホテルで、私たちの村の伝統

的な踊りと歌を披露するので、是非見に来て欲しいという。

8日目の2日、ゴルフの予定でしたが、朝から雨のため中止して、近くにある野鳥園「エコパーク」に行きましたが、カメレオン、イグアナ、オオムなど10数匹いるだけで、むしろ熱帯林の植物園といった所でした。

女主人のお誘いもありナビテリゾートのホテルに行くと、ゴルフ場や専用のリゾートを持つ豪勢なホテルでした。宿泊客用の催しとして原住民のショーがあり、女主人たちの若い男女20数人が、タパクロスという樹皮で作った衣装で古くから伝わる狩猟の踊りとか、太鼓や竹筒

の音に合わせて歌が披露され、宿泊の外国人たちも大喜びでした。

9日目の3日は絶好のゴルフ日和となり、パシフックハーバーにあるチャンピオンコースでプレーを楽しみました。クラブなど用意をしていなかったのですべてレンタルです。キャディーをつけて一人120ドルでした。山田さんがカメラマンを務め、あとの4人でプレーしましたが、グリーンの刈り込みをしていなかったり、フェアウェイは雑草だらけでチャンピオンコースとは名ばかりでした。

その日の夜は、日本人の石原さんが経営しているホテルで、本格的なフィジー料理をいただきました。韓国人の奥さんと土地の若い女性を雇ってレストランも営業されていたいました。な



一泊4万円の豪華ホテルのプールサイト

かなか手の込んだ料理で、メニューを紹介すると、ナスのココナツ揚げにはじまり、タロイモのくきサラダ、骨付きのビーフのスープ、タロイモの葉とビーフのココナツ煮、魚のフライのココナツ煮、フィジーほうれん草のサラダ、レモン・チリのキャッサバ、デザートにマンゴといった内容。品数が多い上に一つ一つの量が多く、とても食べ切れませんでした。

石原さんは16年前からこの地で営業されているそうですが、日本の観光客はまず来ないと嘆いていました。軍事政権下では道路や橋といった公共事業はまず望めないし、レブカの世界

遺産登録も難しいのではないかと話されていました。帰り道、空を見上げると雲ひとつない快晴です。

満天の空に南十字星がくっきりと見えた。そして天の川が細長く無数に散らばり、美しい天体ショーです。空気が澄んでいたのも、まるで手に届くような鎖覚さえ覚えました。

旅も10日目を迎えて疲れもピークです。朝5時に目が覚めてホテル下の海岸を散歩しましたが、沖合い50mまで珊瑚礁の遠浅になっていて、素足では珊瑚が刺さって歩けません。地元の人はゴム靴を履いてナマコを採っていました。この付近は日の出もさることながら、日の入りが非常に美しいといわれています。

タクシーでナンデイに向かう途中、サトウキビ畑が延々と続いています。海岸沿いにあったインターコンチネンタルホテルに立ち寄り、ホテル専用の海岸で泳ごうとしましたが、クラゲが異状発生しているので遊泳禁止だったのでプールで我慢しました。フィジーでも有数のリゾート地だけに、1泊の料金は日本円で4万円です。最後の宿泊地、ナンデイのホテルに着いたのは午後2時を回っていました。コーラルコーストに着いてから4日間、いろんな所に案内して頂いた親切なタクシーの運転手さんとはここでお別れです。フィジー旅行の最後でもあり、ナンデイの市街地にお土産を買いに出かけました。土産店に入ると若い日本の女性が数人がいたので、声をかけると「語学の勉強に来ました。ホームステイして2ヶ月になりますが、あと2週間して帰ります。英語をマスターするためにきましたが、いろんな国の学生がいて取り組みやすく楽しんでいます」と話していました。またこの店で、別のグループの日本人にも会いましたが、ホテルの関係者にお聞きすると、語学の勉強に来ている日本の学生は年々増えて現在、400人を越えるといわれています。

いよいよ11日間の旅も終わりの日です。昨日、ナンデイの市場で買ったパンを持って山田さんの部屋に集って朝食をいただきました。それぞれ今回の旅行についての感想を語り合いま

したが、山田さんの努力と手づくりの旅行プランで事故もなく、楽しむことが出来た事に感謝のことが全員の偽りのない感想でした。



美しいフィジー諸島の日の出

ホテルからバスでナンデイ空港に着き、午前10時55分発の大韓航空機で帰国の途に着きました。乗換えの韓国インチョン空港で、今度は山田さんの手荷物がチェックされる騒ぎがあり、乗換えの待ち時間1時間半かかって予定の飛行機に飛び込むありさまで午後9時前、関西空港に全員無事帰って参りました。

わずか10日間のフィジー旅行でありましたが、今回の旅で感じたことをまとめてみました。まず意外に感じた事は、軍事政権下による無政府状態といわれましたが、島全体が不穏な空気もなく平和そのもので、外国人たちは安心して観光なり、留学を楽しんでいた事です。警察組織もさることながら、住民達の「ブラ」の挨拶に表現されるように、素朴さと優しさが安心感を与えているのかも知れません。

平和で住みやさしそうに見える島の生活に魅力を感じて、世界各国から移住してくる人々が多く見られます。ところが医療関係の施設がほとんどといっていいのです。とくに山奥の集落には医者がまずいないので、せっかく生まれた新しい命も30%近くが亡くなるという悲劇があるのです。病気になった住民たちは、市販の医薬品に頼るしかないのが現状です。

また印象深かったのは、レブカの街全体を世界遺産に登録しようと、日本人の学者が努力されていることです。確かに現在の世界遺産の多くは欧米諸国に偏っていて、南太平洋地域には少ないのでそれなりに意義があると思います。

ただ私たちが見た限りでは市街地に点在する教会の建物は立派なものがありますが、表通りの商店街は何処が世界遺産なのかわかれるほど建物は痛んでいます。確かに150年前に建てられた貴重な木造の建造物ではありますが、果たして何時までこの建物が保たれるのか疑問です。

こんな事をいうと努力されている学者の方に悪いのですが、仮に世界遺産に登録されたとしたら、過去の登録された都市を見ると、世界各国から観光客が殺到する事は目に見えています。

いまでさえ外国資本によって、魅惑の島の美しい自然が開発され、俗化されている現状を見ると惜しまれてならないと感じました。

おわり

〔所思小話、その3〕

河川の水質悪化とダム

国際文化学科2年 小村良二

はじめに

河川の水質を悪化させる要因は、流域から河川へ流入する工場排水や生活排水だけではない。河川へ遡上する海水も河川の水質を悪化させる。但し、河川へ遡上した海水が河口付近や下流域で滞留するのであれば、その水域が汽水化しても影響は小さいと言える。問題となるのは、海水が河口から10数km以上も遡上して河川の中・上流部に及んだ場合である。通常、河川の中・上流部では河川水を灌漑用水として農業に利水し、さらに鉱工業や土木建築業などに利水したり、一級河川などでは上水道用にも取水する。したがって海水が河川の中・上流部にまで遡上して取水口付近の水質を悪化させると、河川水を利用する諸産業に深刻な被害を与える。さらに海水が遡上した河川では、生息する在来魚類や水生生物などの生態系への影響は計り知れない。本稿ではその影響の一例として、海水が遡上した河川に生じた魚類相の変化について記述する。

なお、河川の水質汚濁の指標とされるのはBOD値（生物化学的酸素要求量、mg/l）平均値

と同75%値であるが（水質環境基準「生活環境項目」）、以下の記述においてはそれらの数値については省略した。

1. 海水遡上と侵入魚類

福井県下を流下する一級河川の九頭竜川は総延長約116km、流域面積約2,930km²、福井県と岐阜県の県境付近に源流を発して米どころの福井平野を潤し、同県坂井市で日本海に注ぐ。同河川では河口から15km以上遡った中流部付近にまで海水が遡上しているようで（感潮域）、この感潮域への侵入魚類の調査・研究によると驚くべきことに海水魚の13科17種、汽水魚の2科6種の計15科23種が確認された（加藤、2007）。加藤（2007）の調査・研究によって記載された魚種は海水魚ではニシン科やボラ科やネズツポ科など、汽水魚ではハゼ科やシラウオ科などと多種類の魚種に及んでいる。同河川への侵入魚類（海水魚、汽水魚）については1992（平成4）年にも同様の調査・研究がなされたが、その当時と比較しても2007（平成19）年の今調査・研究結果の方が、侵入魚類の種別・数量ともにより増加したことが明らかになった。このことは、海水の遡上距離によって海水魚や汽水魚の遡上が顕著になることを示しており、九頭竜川中流部に従来から生息する（在来魚類）淡水魚の鮎やヤマメ、ハヤなどとの棲み分けや食餌などの生態上における影響が相当に深刻化しているものと推察される。

2. 海水遡上の要因と対策

河川に敷設されたダムは人工的に河川の流量をコントロールするため水量が減少し、必然的にダム敷設地点より下流部は河川の流下速度が制限される。河川の流下速度が低下するとダム敷設地点より下流部に流入した土砂の運搬力も低下して海域にまで土砂を運搬できなくなり、土砂は河川の中・下流域周辺に堆積して河床の勾配を変化・変型させる。河床の勾配が変化・変形したその河川の営力は、沿海域の波浪や潮位などの営力との相関作用の結果、海水の遡上

に適した河床の勾配が形成されやすくなって海面の上げ潮時には河川へ海水が遡上することになる。

前述した福井県内を流下する九頭竜川水系には発電用や治水用(洪水調節用)などの22基のダム(ダム、可動堰)が敷設されているが、河岸から同河川を目視しても著しい水位の低下は見られず、水量も減少しているようには見えない。しかし、河床の勾配は変化・変型していて、上述したようにそれが誘因となって海水の遡上を引き起こしているものと思われる。したがって同河川への海水の遡上を断つためには、九頭竜川水系の水量を自然状態にまで回復させて流下能力を適切に維持することである。具体的な対策としては、流域に堆積した土砂(河川砂利)の採取※・除去及び川底の掘削・浚渫などの河川改修・拡幅工事を実施すること(但し、事前に生態系への影響調査は必須である)、さらに同河川水系のダムからは常時一定量の水量を放流して流下速度を向上させること、などが有効であろう。正に『流れる水は清し』である。

※自治体によって異なるが、河川砂利の採取は規制されている。しかし、災害対策などを目的とした河川改修工事時などの特定の状況下においては、河川堆積土砂の採取は許可されることがある。(一級河川の「河川砂利特定採取制度」)

結 び

2001(平成13)年2月、元長野県知事の田中康夫氏は有名な「脱ダム」宣言を発表した。その要旨は“ダムは地球環境に過大な負荷を与え、その建設後の維持管理には多額の費用を要する”こと、“我々の子孫に残す資産としては、(ダムよりも)河川や湖沼の価値を重視したい”こと、に集約される。「脱ダム」宣言では、ダムが持つ具体的な功罪についてはあまり触れていないが、文脈からはダムの治水(洪水調節機能)・利水の効果には一定の評価を与えているようである。この「脱ダム」宣言の意趣は、2009(平成21)年9月に政権交代した民主党に政策的に引き継がれ、同月の国交相による八ッ場ダム(群

馬県長野原町)建設凍結表明へと繋がった※。しかし、その後の「脱ダム」の可否の議論では主に治水面や建設コスト面からの是非のみが論じられており、水質面や利水面などの功罪が議論されることは少ない。

私は第1節においてダム建設によって生じる負の側面を詳述したが、『河川に敷設されるダムは自然環境に弊害をもたらすのみ』などと一方的に断じたつもりは毛頭ない。また、そのような論調を張る一部のマスメディアにも同調しない。しかし、既述したように河川の上流部に敷設されたダムによって、河川中・下流部には海水が遡上して水質を悪化させる現象が生じることもダムが持つ功罪の一つであることを認識しておく必要がある、と考える。

※しかし、その約1年後の2010(平成22)年11月、菅直人内閣の新任の国交相はこの方針(八ッ場ダム建設凍結方針)を事実上撤回した。

引用文献・参考文献

加藤文男(2007)：九頭竜川水系で新たに確認された汽水・海水魚、福井市自然史博物館研究報告、No. 54、p. 75-78。

日本ダム協会(2009)：全国ダム施設現況「水系別ダム一覧表」。ダム年鑑(2009)。(財)日本ダム協会(東京)、p. 108-111.。

【私の散歩道】

文学歴史学科2年 志方得雄

中断していた散歩も体調がようやく回復してきたので毎日1万歩を目標に再び歩き始めている。

朝8時に家を出、まず猪名野神社にお参りする事からスタートだ。この神社は、白雪や老松などお酒のまちである旧伊丹郷町の氏神である。境内には織田信長に謀反をおこした荒木村重の居城有岡城の城郭のひとつである「きしの砦」の土塁跡がある。

この有岡城、天正2年(1574)に伊丹城城主、伊丹親興を破った荒木村重は信長の命により摂津守となり城を有岡城と改名した。侍町・町屋を含む全体の周囲を掘りと土塁で防備した我が国初めての「惣構え」の構造をもった城郭である。天正6年(1578)10月謀反を起こした荒木村重は、約束した毛利の援軍は来ず、味方の裏切りにより信長軍に攻め落とされ毛利を頼って尾道に亡命することになる。その後秀吉の天下になると道薫と称し、お伽衆として茶道で仕え52歳で堺で亡くなるのであるが、翌年12月残された村重の妻たし、その妹、有力家臣とその妻子一族数百人は、京六条河原と尼崎七つ松で処刑され、信長三大虐殺の一つに数えられている。自分だけ生き残り家族・家来を見捨てた村重は、どのような戦国武将であったのであろうか興味のある点である。

村重の半世紀を描いた黒田亨著「惜命記」のあとがきにこの様なことが書かれている。

『武将としての荒木村重を、肯定的にみるか否定的にみるかは、人によって両極端にわかれている。私の見るところおおむね後者の側に立つ人が多いように思う。批判の理由ははっきりしている。一僕の身から取り立ててくれた旧主池田勝正を追放したこと、第二の主君織田信長に反逆したこと、籠城戦中に城主でありながら家臣を置き捨てにして有岡城を脱出したこと、一族家臣の婦女子が信長に虐殺されるのを黙視したこと、信長の死後は秀吉のお伽衆として屈辱の生をむさぼったこと。だいたいこの5点に絞られる。

現象として見るとたしかに武将として不義不仁の行為だから、当時においても後世においても卑怯未練な男として非難されたのもやむをえないであろう。しかし当時の村重のおかれていた状況とかれの人間性などに思いをいたしてみると、評価はおのずと逆転してくる。

・・・(略)・・・村重が52年の生涯に味わった栄光も挫折も戦国地図のなかでかれのおかれていた摂津という場所と切り離して考えることはできない。かれが風雅の心ある教養人であったこと

は「信長公記」「細川家記」などにものべられているところだが、この教養もむろん畿内という地の利に負うところが多かった。茶湯、能、和歌、ことに茶湯がかれの教養の核になっていた。堺の茶人とも深く交際していた。今井宗久や津田宗及の茶会記などにしばしば名前がでてくるし「茶人大系譜」などでは“利休七哲”の一人にあげられている。能のほうでは観世宗掇かんぜそうさつの弟子であり、家老に観世又三郎を抜擢しているほど打ち込みようだ。・・・(略)・・・要するに、当時の武将としては第一級の文化人であった。しかしじつはこの文化性にこそかれの悲劇の芽が胚胎していた。すなわち強烈な覇権主義者信長との接触が深まれば深まるほど、両者の間に違和感が生じてきて、後の秀吉と利休との葛藤のように、決定的な対立抗争に発展する宿命をもっていた。主君に試されるたびに上昇気流に乗った秀吉にくらべて、教養人の村重や光秀は結果的に下降気流に乗った武将といえようが、村重の教養や性格には光秀とはややことなつたつよ芯の勁さがあつた。“武に滅んでも文に生きてみせる”という二重構造があつた。武にたいし文

をもつて抗あらがう課題をおのれに課せば、まずなんとしても生きてみせなければならない。いかなる屈辱に耐えても生きつづけてみせることがそのまま抵抗の武器となる。・・・(略)・・・

生まれ育った場所と人並みはずれた文化性のもたらした悲劇というほかはない。』

著者のいう「武」と「文」の二重構造は、妥協を許さない繊細な心の葛藤の問題であるので、協調主義の私からみると少し理解しがたい部分もあるが、只村重は家宝の茶器を信長が所望していたのを拒絶し続けていた事が小説にも著されていることからみても、茶の湯については信長にもへつらわぬ強いこだわり持っていたのではないか。そして急に抜擢されて摂津守という大出世した事に対するねたみが当然あつたろうと考えられるから、いろいろと信長に注進されていることにガードが甘かつたのではないかと思う。

さて村重はその後どのように地元で受けとめられたのであろうか。

伊丹の俳人上島鬼貫おにづらが元禄3年(1690)村重の不

評をなぐさめるごとく詠んだ句からその一端を感じることができる。

ひよどり 鶇 や さえず 囀 りも 石の花

《大意：世間はまるで鶇がさえずるようにあらぬ悪評を喋り散らしている。そんな火花みたいな悪評を気にするまい 村重はん》

そして近年、昭和55年の伊丹市制40周年記念として「荒木村重の叛乱」が公演されたが、当時伊丹在住の作者香村菊雄氏はこの戯曲について「村重を英雄とも、反逆者とも決めつけず情報が乱れ飛ぶ権力闘争の世界で、真相はわからないまま、情報におしつぶされ、勇猛さも弱さもさらけだした人物として描いた」と悪罵の村重像でなく、敗れし者への共感をもって描いたと説明されている。400年を超える時間が村重を、伊丹がうんだ戦国武将として好意的にとらえていこうとしているように思える。

さて、たし(21才)が最後に遺した歌に村重の知られざる遺児の事が書かれている。

『残しをくそのみどり子の心こそおもひやられてかなしかりけれ』

そのみどり子こそたしの出である本願寺にかくまわれ、その後絵師となつた村直こと岩佐又兵衛といわれている。岩佐又兵衛は狩野派の絵師狩野内膳(重卿)の弟子となり、その後越前福井藩主松平忠直の招きで多くの作品を残し中には現在重要文化財の名作もあるとのことである。前職の時、歴史愛好の有志で自然にできた「おやじ会」のT君から「伊丹は荒木村重ですよ。伊丹に村重研究会もあるそうですよ。」とアドバイスを受け退職後はこの関係の本を何冊か読んだのだが、知ったかぶりの村重の話は、受けうりばかりであるが興味がつきない。

さて猪名野神社から林に囲まれた伊丹緑地を歩くと旧西国街道に交わる。ここで立ち寄るのが伝和泉式部の墓(塔)である。

大江雅致の娘である恋多き女性として有名な和泉式部は、和泉守橘道貞と結婚した後も冷泉院の皇子^{ためたか}為尊親王と恋をし、親王が流行病で死ん

だ後はその弟である敦道親王^{あつみち}に求愛され、その10ヶ月の恋愛生活を『和泉式部日記』で綴っている。この敦道親王も27歳の若さで亡くなるが、その後藤原道長の娘一条天皇中宮彰子に仕え、同じく彰子に仕える紫式部・伊勢大輔・赤染衛門らと宮廷サロンを築いたとされている。同僚であった紫式部は、紫式部日記において『和泉式部といふ人こそ、おもしろう書きかわはしける。されど和泉は、けしからぬかたこそあれ、・・・』(恋文や和歌はすばらしいが、素行には感心できない)と厳しい批評をしている。紫式部のような良妻賢母主義の女性からみると、夫と離別し、子供とも別れ、親に勘当されながらも親王を愛し、次々と二人を死にいたらしめる事になってしまったことは、まさにけしからぬ事であったかもしれない。男女交際の規範がずっと穏やかだった当時であっても、和泉式部の奔放な恋愛遍歴は、行き過ぎだと見られていたようである。その後宮仕えが機縁となつて摂津国川辺郡平井(現在宝塚市平井)の藤原道長の家司藤原保昌と結婚したので、ここに塔が建てられたのではないかという伝承が残っているらしい。

この地を詠んだ和泉式部の歌

津の国の 昆陽とも人を いふべきに
ひまこそなけれ 芦の八重葎

伊丹市にある伝承和泉式部の墓もそうであるが、和泉式部の伝説は全国いたる所にあるそうである。白州正子著「私の百人一首」にこのような事が書かれている。『(彼女は)歌を見ても、常にあの世とこの世の中間にさまよう女であ

り、それが夢^{ゆめうつ}現の恋の陶醉と重なつて、妖しい雰囲気をかもし出す。小野小町と和泉式部には、たしかに共通する何かがある。それをかりに巫女的な吸引力と名づけてもいいが、その放心的な魅力が男心をとらえ、ひいては民衆に強い印象を与えたのであろう。』この指摘、和泉式部が伝説上の人物となった理由のひとつであるかもしれない。

次に緑が丘公園に寄り、たんたん小道を通りながら昆陽池公園に向かう。昆陽池は、近くにある昆陽寺とともに天平13年(741)行基が猪名野笹原百五十町歩の大開墾で、全部で灌漑用水池

として五つ池と三つの溝を掘ったと伝えられている。その後埋め立てられた池もあり、現在周囲約2キロの二つの池が残っている。

このところ私は、毎日昆陽池の自然に浸っている。特に榆やぶな等生い茂った散策道の木を、じっくり名前とか枝振りとか樹皮とか実とかを見ながら歩くことに楽しさを感じている。

私の素人観察で多い方からみると、まず黒松、アラカシ・クヌギ・コナラなどのブナ系統の木、次にアキニレ・ケヤキなどのニレ系統の木、そしてくすのき系統の木である。

これらの樹木を見ながら、5年ほど前、息子が高山にいたとき家具のオークビレッジを訪れたおりその代表稲本正著の「森の形 森の仕事」の本を買ったことを思い出したので、今もう一度読みかえしている。おもしろいので中身を少しふれてみたい。

日本の『木の文化』を歴史的にみると、縄文時代草創期の紀元前12000年前から、ブナ・ナラ・クリを主力する『落葉広葉樹林文化』が始まり、紀元前300年前の縄文晩期から以降の2300年間、特に弥生時代から飛鳥・奈良時代にかけて、ヒノキ・スギを主力とする針葉樹が木の文化の中心となる。そしてこの『針葉樹文化』が江戸時代まで続く。そして明治以降、近代工業化社会になってまたたく間に木から石化製品によって変わることになる。

14000年の歴史をかいつまんでみるとこういうことになる。

山に登ると杉だらけであるが、これらの針葉樹林は一言でいうと広葉樹林の六分の一程度の時間しか使われていない。

この針葉樹林へのターニングポイントになったのは、稲作・鉄製品をもってきた朝鮮半島からの渡来人である弥生人に、石器と木器しかない縄文人が屈したからである。その後この弥生人は、権力者として大規模な古墳の建設など土木文明で威圧したり、縄文人の自然崇拜を主とした多神教のなかに仏教を導入し、お寺や仏像などを造りこの材料として鉄器で容易に扱える針葉樹林を用いていった。

飛鳥時代の寺の建造物は、針葉樹の「檜」が使われていたが、仏像はまだ広葉樹の加工技術を継承し、広葉樹である「楠」が使われた。

しかしこれも平安時代に入ると寺も仏像も「檜」に変わる事になる。

最後に著者は、近代工業化がもたらした地球温暖化にもう一度木の文化を活用できないかと示唆している。木の文化とその歴史的背景が書かれたこの本、木をこんな視点で読むことができるとは久々の驚きである。

私の住まいをよく見ると、本当に家の中は、プラスチックだらけだ。木のものにしても合板でない本来の無垢の木でできているのはどれだけあるのか。高山の木工所で作られた檜の食卓テーブルのほかに何があるのだろうか。

小さい時、家に必ずあった床の間がいつの間になくなった。床の間を通じて自然と一体感をもった生活をもうすっかり忘れてしまっている。これも自然との共生を失った原因のひとつであろう。

我が家では、私の住む2階はすべて洋間である。だから床の間はない。しかし階下にいる米寿になった家内の母のところは、床の間をちゃんと残している。そして床の間には、時々季節にあった掛け軸や飾り花を生けている。長年俳句に親しんでいる母だけが、唯一自然を楽しみ昔ながらの風雅のこころを持ち続けているのであろうか。

伊丹の歴史を全身で感じながらの約2時間、13000歩、これが私の散歩道である。

小さい街であるけれど、歩けば歩くほど何か発見しそうな感じがする。お酒の街として俳諧の街として、そして西国道、夢田道、有馬道、大坂道が交わる街として郷土を今後とも探っていきたい。

文 芸 欄

国際文化学科3年生

岸 本 司 朗

山間やまあいの御洒落おしやれな町湯布院たふえんは

ギヤルが闊歩くわふしさながらつツツツツ

麓ふもとより見て嬌たおやかな由布岳ゆふだけは

登れば巖いわじ母の如ごとくに

ヒメシヤツヅナの林はやしに励はげまされ

倦うまず歩く大峰奥おおくけ駈かけの道

鹿遊まぶ正まさホケ原きはらは楽園らくえんなれど

玄枯げんこれ田いり交まじつ大台おおいテ原

天下てんかに布武ふぶを喝かえし信長しんちやうの

一瞬いつしゆんの夢ゆめや岐阜城ぎふじやう悠ゆう悠

信長しんちやうの国盗くにとりりの夢ゆめ育はぐくみじ

岐阜城ぎふじやうはたつ縮ちぢ葉は山頂さんてい

仙丈せんぢやうテ岳だけ山頂さんていより望のぞむ大パノラマ

天あま上かみ天下てんか唯ただ我われ独尊どくそん

雲海うんかいのよより眺ながむ北きた方かたルプス

山やまある日本にっぽんにまれじ幸福しあわせ

尾瀬沼おぜぬまに日光にっこうキスくスス花開はなひらき

青空せいこう高く生せいにあふれる

大師おおいへの信仰しやうぎやう強つよし高野たかの詣ぎで

町石ちやういし道みちは二十にじゅう二にキロメートル

兵庫の城を訪ねて その1

尼 崎 城

情報学科2年 山本 ふみこ

尼崎城跡は、阪神尼崎駅の南口から見える、駅のすぐ近くにあり、尼崎城跡公園になっており、尼崎市立図書館の西側に模擬石垣と土堀が復元されています。

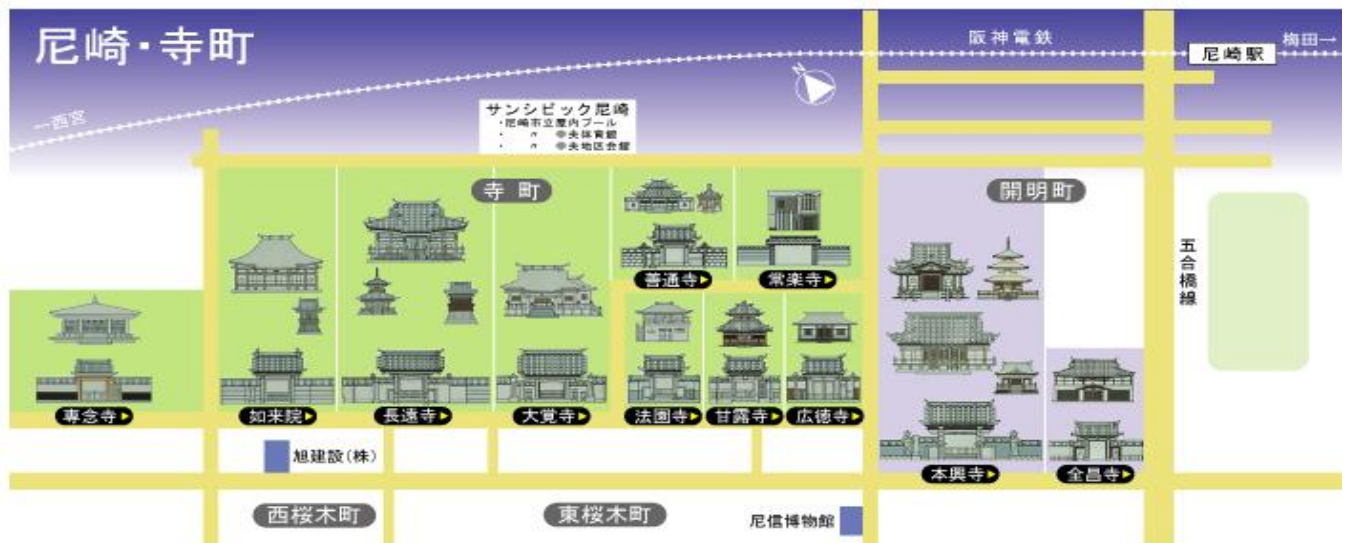
尼 崎 城

往時の尼崎城は、二重・三重の堀で全体をらせん状に構成しており、本丸には枡形虎口が設けられた防備の固さがうかがえます。この設計は、江戸城や二条城・名古屋城に似ており、平地に築かれた典型的な近世城郭で、江戸時代の城としての特徴が表れています。また、水を巧みに利用した姿は、水に浮いているように見えることから「浮城、海城」と呼ばれたほか、「琴浦城」という別称もありました。



城下町と寺町

天正18年（1590）、豊臣秀吉が京都の京極に寺町を作ったことをきっかけに、全国の城下町に数多くの寺町が建設されました。尼崎の寺町もその一つで、尼崎城築城の際には寺院が一箇所に集められました。また城下町の前衛部分を軍事的に固めるためにも利用され、大きな建物と境内は出城の役割を担いました。明治以降、都市化により昔の面影を失っている中で、約400年間寺院の区画も当初のまま残されている尼崎の寺町は、今日において貴重な存在であり、多くの文化的遺産、歴史的資料が残っています。



櫻井神社



当神社は、明治15年（1882）尼崎城内に建立されました。櫻井松平家10代目忠喬公が、遠州掛川より尼崎城に移ってこられました。最後の城主忠興公は、西南戦争（1877）において敵味方の区別なく、戦傷者を看護され、博愛の精神を大いに発揮されました。これが世界赤十字社に認められ、日本赤十字社の誕生を見るに至りました。又、学問向上にも全力を傾注され、明治六年、尼崎最初の学校を建立されました。

（現 開明小学校）なお、当神社には、初代信定公より十六代忠興公までが祀られています。

1. 17

メモリアル・ウォークに参加して

国際文化学科2年 中村 米三郎

東日本大震災で、被災されました皆様方に心からお見舞いを申し上げます。

1月17日に「ひょうごメモリアルウォーク2011」が行われました。この日は、阪神・淡路大震災の16周年になります。

私は、昨年10月から兵庫県が開催する「ひょうご防災リーダー養成講座（兼防災士試験受講講座）」を受講していますが、この講座は3月まで12日間（90分×3講座／日）行われます。防災実践訓練として、このウォークが講座に取り入れられていますので、「1. 17メモリアルウォーク帰宅訓練」に参加しました。

このウォークは、出先で被災したとして、公共交通機関を使わずに、指定されたルート徒歩により帰宅するものです。

今回は神戸学院大学ポートアイランドキャンパスからHAT神戸までの6kmを歩きました。

1. 10:00 神戸学院大学を出発。



2. 「災害時帰宅困難者支援ステーション（今回はローソンがなっていた）」で 飲料水の提供を受け（今回は購入）、トイレを借りる。また、「災害時伝言ダイヤル」に登録・再生を行い、携帯電話とNコードを用いて自分の現在位置を把握する。



3. 三宮東遊園地にある「慰霊と復興のモニュメント」に立ち寄る。



4. 途中の広場で、自分の願いと目標を記入して広場に立てる。



5. 神戸港駅の記憶「5：46」を指す時計と災害時用のトイレを発見！！



6. 12:00 HAT神戸に到着



防災はばタン

ク ラ ブ 紹 介

コーラス「けやき」

コーラス「けやき」の発足は神戸市立シルバーカレッジからシニア専科に入学して来た二期生を中心に音楽好きが「合唱の楽しみをモットー」に9年前に現指導者の田井先生・ピアノの永末先生の指導の下、部員27名（男性9名・女性18名）でコーラス「けやき」はスタート致しました。

基本的には混声三部・四部合唱で部員20名、週1回（1時間半の練習）現在も歌唱指導は田井先生、ピアノは山岸先生で和気藹々の中にも厳しい指導で合唱を楽しんでいます。主な活動・発表の「場」は秋の学園祭の出演・シニア専科の入学式・卒業式での「学園歌」の斉唱に始まって入学・卒業其々のシーンに相応しい歌曲を3曲程度歌って送迎の「意」を現わしています。

今は、メンバー女性11名・男性9名で秋の学園祭参加を目標に新曲に取り組んでいます。

発足当時に比べ女性がチョット少ないのが気になるところです。この記事を読まれて合唱

に（特に女性）関心をお持ちの方はぜひ気軽に



練習風景をのぞきにきて下さい。

毎週金曜日14時30分から学生食堂ホールで練習をしています。

（文 吉本 正明）

謡曲部「樺謡会活動報告」

園田名物けやき通りから、樺謡会と名付けた謡曲クラブは平成15年秋に活動開始しました。第2期生の入学生懇親会で、一節謡ってください岩坪さんを部長とし、謡曲歴50年以上という野上先生のご指導のもと、観世流謡曲を月1～2回ペースで練習を続けてきました。とにかく大きな声で！お腹に力を入れて！という声かけで始まったお稽古を続けることで、室町時代初期に大成されたとされる600年の歴史を持った能楽に楽しみが持てるようになり、古典文学から名文、美文が随所に採り入れられていることが解り、余分な肉を削ぎ落とし、洗練された言葉、形となった能楽の魅力に、私達の得たものは大きいものがありました。

けやき祭
・入学式・
卒業式の間
で発表出来



たことも大きな成果となり、生涯学習センターのご支援のお蔭です。

（文 木村 洋子）



「けやき便り」編集クラブ

シニア専修コースで学ぶ者の情報誌として有志が集まり、平成22年10月1日に創刊号を発刊して今回でやっと第3号となりました。



貯金箱に囲まれた笑顔？

目的は、シニア専修コースで学ぶ人たちのコミュニケーションをはかり、より楽しい学園生活を送るためです。

学内での出来事、学外授業、施設案内、近隣飲食店の紹介、クラブ紹介、個人の詩やスケッチ、写真、等々……なんでもありの情報誌です。

現在、男性5名、女性2名の7名にて月2回程度の編集会議をもっております。(第2、第4の水曜日、5号館2Fのチャティ) 会議終了後はビールを飲みながらワイワイガヤガヤと会議の続きをしています。

又、この「けやき便り」は皆様の投稿により作っておりますので、体験談、作文、詩、川柳、写真等々何でも結構ですので投稿を心よりお待ちしております。

最後になりましたが、生涯学習センターの皆様には大変ご協力ご支援をいただき心よりお礼申し上げます。(文 齋藤 秋生)



けやきデジカメクラブ

今年の4月15日に発足したばかりの「けやきデジカメクラブ」です。

設立の趣旨は、

- ✚ デジカメを持って、野山・名所・名園・旧跡などを訪ねて楽しい一日を過ごす。
- ✚ 園田学園で写真をパソコンに取込み、編集・加工を行って、デジカメで撮った写真を活用して楽しむ。

活動日・活動内容等

- ✚ 野外活動日
偶数月…第2土曜日
奇数月…第3土曜日
- ✚ 野外活動内容
デジカメを持って屋外に飛び出します。
第1回目の活動は、5月21日に伊丹市の「荒牧バラ公園」に行きます。
- ✚ 屋内活動日
第4木曜日および第4金曜日
(活動内容は、木曜日、金曜日とも同じ内容ですので、どちらかの日に参加して下さい)
- ✚ 屋内活動内容・場所・時間
 - ・デジカメで撮った画像をパソコンに取込んで楽しめます。
 - ・パソコン操作が必要になります。パソコンは数台準備しますが、ノートパソコンをお持ちの方は、マイ・パソコンを使われた方が理解が深まります。
 - ・活動は5号館2階のチャティで午後2時45分～午後4時30分まで行います。
 - ・参加費は500円(テキスト代等の経費を含む)です。

画像の活用

- ・パソコンで年賀状、アルバム、カレンダー、名刺等をつくります。
- ・「けやき便り」への掲載や県立神戸生活創造センターが開催する創作展への出品を行います。



当クラブの目的は、シニア専修コースの学生生活を楽しむことです。

(文 中村 米三郎)

「けやき便り」の投稿について

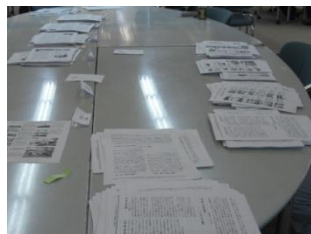
1. 「けやき便り」は、原則として「MS明朝体」「12ポイント」のフォントを使います。
2. 原稿について
 - ① 原稿用紙で頂く場合
市販の400字づめ原稿用紙をお使いいただくか、またはメモ用紙に記入して頂いても結構です。また、当クラブも専用の400字づめ原稿用紙を用意していますので、必要な方は、お申し出下さい。
 - ② パソコンでプリントされた場合
プリントされた用紙をそのままご提出下さい。できれば、画像が含まれている文書を投稿される時は、ファイルのまま頂くと非常に有難いです。その場合、提出方法は、編集クラブ員にご相談下さい。
3. 次の内容を含む投稿はお断りします。
 - ① 宗教・政治に関するもの
 - ② 公序良俗に反するもの
 - ③ 一般常識の範囲を大きく逸脱していて、「けやき便り」編集グループが、掲載することを不可と判断したもの
4. 原稿は、止むを得ない場合に限り、変更・修正をすることがありますのでご了承ください。
 - ① 紙面のレイアウトを整えるため
 - ② 編集グループで気がついた明らかな誤記や不適切な表現を避けるため
5. 頂いた原稿は、編集およびページ数の関係上、最新号に掲載できない場合があります。また、原稿は返却いたしかねますので、ご了承ください。
6. 画像を掲載する時、カラー画像を頂いても、紙面には印刷に適した色に変換して掲載しますのでご了承ください。
7. 投稿は1号館1階にある総合生涯学習センターに設置してある「けやき便り」投稿箱をお願いします。



「けやき便り」の製本風景



印刷する



並べる



製本する



チェックして綴じる

総合生涯学習センターからのお知らせ、お願い

★ 登校時には、必ず『掲示板』をチェックしてください。

大学では、殆どのご連絡を「掲示」でおこないます。休講、教室変更、諸行事、連絡事項など、登校の際必ず1号館1階玄関ロビーの「掲示板」にてご確認ください。

編集後記

今つくづく思うこと [編集後記に代えて]

2月22日に起きたニュージーランド南島の地震からわずか17日目の3月11日に過去最大級の地震が東北地方で発生するとは誰も予想しなかったであろう。

しかも、津波、原発事故と三重苦である。リーマンショック以後、厳しい経済状況を乗り切り、ようやく明るい兆しが見え始めた矢先の出来事だ。「何で？」と絶句するだけ。阪神大震災の後の驚異的な復興は今回は恐らく望めないのでは。

それだけに、これからの日本人一人一人の、被災地に対して、一般社会に対して、行政に対してどう向き合っていくかが問われ続けていくと思う。取分け、原発の後処理の推移は世界中から厳しい視点で見られている事を肝に銘ずる事が大切である。

日本には今54基の原発がある事、東南海地震、南海地震が早晚起こるであろう事を忘れてはならない。

今、自問自答している。「公共の利益とは、公共への個人の役割とは何か」と。

高度成長期以後、自分の周り（家族、友達、会社など）の幸せのみを追っかけ過ぎ、「隣は何をする人ぞ」に我々はなってしまった。自販機を初めとする街頭電気設備の必要以上の電力消費、派手で調和のとれないビルの広告、高価なファッション等々。

尤も産業界の消費誘導に乗らされた面も無いとは言えない。

一方ゆっくりではあるが、価格に関係なく本当に良いもの、生き方を求める風潮が出てきているのも事実である。いよいよ本来の価値観を模索し始めたのか。

曲がった胡瓜でもおいしければいいではないか。スローライフやスローフードもそのひとつの現れである。

適当な消費が経済を活気付ける事は否めないが、それと人間らしい暮らしのバランスをとりながら、穏やかな社会になって欲しいし、「その何百万分の一でも、何かの形でお手伝いできれば」と思う今日この頃です。

以上、年寄りの詰まらない独白でしたが、「けやき便り」第3号も何とか発行にまで漕ぎ着けました。これも積極的な投稿者と、印刷を初めいろいろと支えて下さった総合生涯学習センターのおかげだと感謝しています。

T. Y

けやき便り3号を発刊することが出来ました。出来上がると嬉しいです。2年生になって学園に慣れてきましたが、勉強は未知の世界の事が多く、楽しみであり、苦しみでもあります。友に助けられながら充実した2年生の日々を送りたく思っています。

F. Y

4月に新入生を迎え、メッセージをお願いしたところ、早々に投稿いただきありがとうございます。社会経験タツプリの方々も、少しは緊張されていると思いますので、けやき編集クラブが皆様の輪を広げられるよう、お手伝いできれば幸いです。

S. K

3号ができました。1号が27ページ、2号も27ページそして3号が33ページです。シニア専修コース受講生の皆様、総合生涯学習センターの皆様に助けられて「けやき便り」は順調に成長しているようです。本当に有難うございます。

Y. N



8 月 (AUG)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			



10 月 (OCT)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

12 月 (DEC)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

[illegible]